

親子もちつき大会



【猪子石学区】

■世帯数：2,939 世帯

■人 口：7,121 人

■面 積：0.766 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・猪子石小学校を会場に「親子もちつき大会」を開催。参加者数は約 600 人。
- ・毎年恒例の行事であり、前年度の資料を参考に話し合い、企画運営する。
- ・もちつきに加えてビンゴ大会を開催し、子ども会による豚汁販売も行う。より広い世代からの参加が可能となっている。
- ・以前は近所の米屋からもち米を蒸した状態で持って来ていたが、廃業したため、現在は会場で蒸すところから行っている。子どもたちが、もちつきだけでなく、最初の工程から体験できるのが良い。

【住民へのPR方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示

【アピールポイント】

昭和 50 年代から続いている。各団体の協力で町内あげて実施するお祭行事である。毎年大勢の参加があり、冬の風物詩となっている。

2 きっかけ、背景

新興住宅地として、住民の転出入が多い地域のため、地域のふれあいが必要とされており、「親子もちつき大会」を地域の交流の場として始めた。親子で参加することによって、大人も楽しむことができる。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、子ども会、老人クラブ、スポーツ推進委員 計約 25 人

(2) 運営協力

消防団、子ども会、民生委員児童委員の協力が活動を継続する力となっている。

4 実施のスケジュール

毎年4月 開催予定日を確認



12月 学区連絡協議会（もちつき大会実行委員会）で昨年の実施内容をもとに役割分担、予算案を決定
チラシの回覧、ポスターの配布



1月 打合せ、準備



1月中旬 親子もちつき大会の開催

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・地域の交流の場として、参加者が年々増加している。
- ・もちつき大会の開催により、消防団、子ども会の活躍が多くなっている。
- ・餅を食べるための皿、はし、お椀を持参してもらうことで、ごみの減量に対する住民の意識が高まっている。

(2) 苦労した点

- ・元々はもちつきのみだったが、同じ予算でビンゴゲームを加え、自治会組長へ運営の手伝いを促した。また、子ども会による豚汁販売も始めたことで、参加者の増加につながった。

(3) 今後の課題・展望

- ・老人クラブ会員の参加を促し、地域の交流の場として、継続させたい。

(4) メッセージ・アドバイス

- ・他学区にも同様の事業はあると思う。思い出はとても大切なものであり、継続をお勧めしたい。

